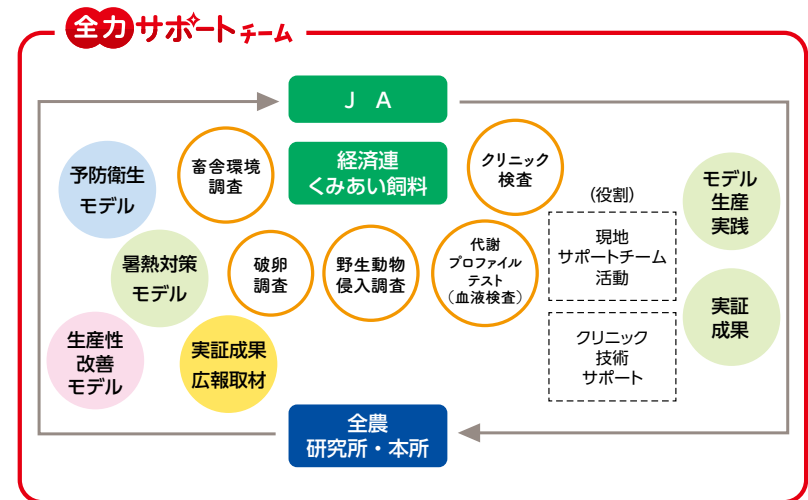


「生産性向上全力サポート」！



畜産経営における現在の環境は、資材価格の高騰、重大畜疾病の流行、労働力不足など厳しい状況に置かれています。こうした事業環境の変化をふまえ、JA全農では生産者支援の強化・拡充を進めていくため、各地域にJAグループの技術者が「全力サポートチーム」として結集し、生産性向上に資するメニューを実証する「生産性向上全力サポート」に取り組んでいきます。今回は本事業概要について紹介します。

1 生産性向上
全力サポートとは？

生産性向上全力サポートでは、生産性向上のテーマとして①予防衛生②暑熱・環境対策③生産性改善——を設定し、各テーマに即した生産性向上メニューをラインナップしました。また、各地域にJA・経済連／くみあい飼料・全農クリニック獣医や研究所技術者らで「全力サポートチーム」をつくり、各生産者のニーズに合った生産性向上メニューを提案していきます。

このプロジェクトに参画する生産者は、生産性向上の実証モデル農家として、全力サポートチームと協力しながら、農場環境調査や飼養管理の実践、生産成績の記録など、農場の課題に応じた生産性向上メニューに取り組んでいただきます。

2 サポートメニューの
具体例

① 予防衛生

畜種ごとに全農クリニック獣医らによ

実態調査・飼養管理の課題を調査し、農場での改善点の発見、農場に合わせた改善モデルの提案を行います。

●実証モデルの具体例

「はつらつモウラック」による

移動ストレスの低減

導入直後の牛は、移動や飼料摂取の制限など各種のストレスを受けており、家畜市場での上場体重と農場着地体重に大きな差があります。「はつらつモウラック」に含まれるビタミン

【図4】混合飼料「はつらつモウラック」



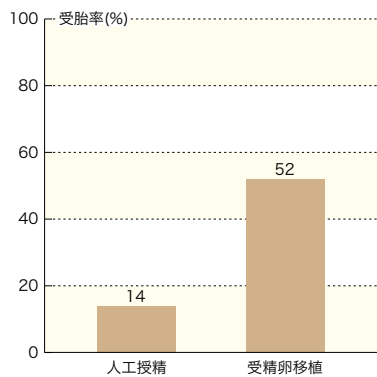
とアミノ酸の効果により、体重減少を抑制し、その後の体重回復も促進することが可能となります。

3 最後に

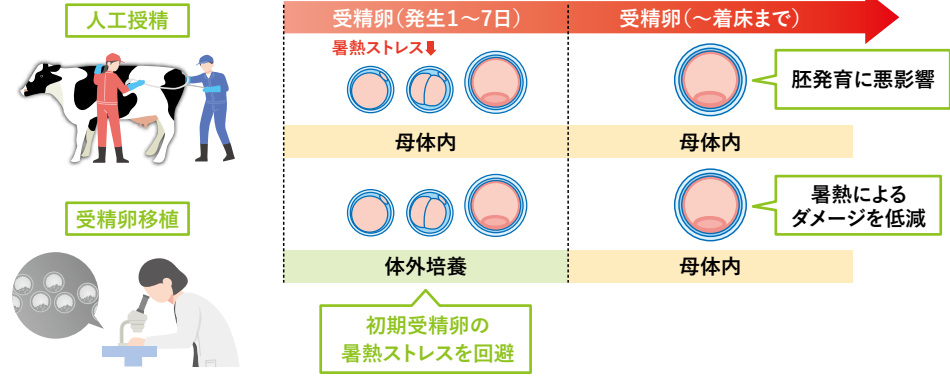
今後は、環境問題やアニマルウェルフェアへの対応など新たな社会的課題への対応も求められ、生産者個人の努力ですべての課題に対応することが難しくなっています。JAグループでは、これまで以上に多様化・高度化するニーズに対応するため、「生産性向上全力サポート」を通じて生産性向上メニューを提案します。この取り組みによって得られた成果や実証事例を全国に広く普及していくことで、生産者の持続可能な経営の実現につながってまいります。

「生産性向上全力サポート」はJAグループの総力を挙げた取り組みです。すべての関係者のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【図3】暑熱期のホルスタイン種経産牛の受胎率



【図2】受精卵の暑熱ストレスのイメージ



実証モデル	養牛	養豚	養鶏
① 予防衛生	牛クリニック検査 母牛や子牛の血液検査	豚クリニック検査 PICSと連携した生産性改善サービス	鶏クリニック検査 野生動物侵入防止の農場調査サービス
② 暑熱・環境対策	各農場に合わせた農場調査・クリニック衛生検査の提案 調査結果に基づき、ワクチンプログラムや疾病予防・栄養改善等を提案 子牛の損耗防止対策では初乳製剤「さいしょのミルク」を提案	各農場に合わせた農場調査・クリニック衛生検査の提案 調査結果に基づき、ワクチンプログラムや疾病予防・栄養改善等を提案 子牛の損耗防止対策では初乳製剤「さいしょのミルク」を提案	各農場に合わせた農場調査・クリニック衛生検査の提案 調査結果に基づき、ワクチンプログラムや疾病予防・栄養改善等を提案 子牛の損耗防止対策では初乳製剤「さいしょのミルク」を提案
③ 生産性改善	畜舎環境調査を行い、暑熱環境下での改善モデルを提案し、実証 (必要に応じて、サポートチーム向けに環境診断ツールを配布)	畜舎環境調査を行い、暑熱環境下での改善モデルを提案し、実証 (必要に応じて、サポートチーム向けに環境診断ツールを配布)	畜舎環境調査を行い、暑熱環境下での改善モデルを提案し、実証 (必要に応じて、サポートチーム向けに環境診断ツールを配布)
	不受胎牛への受精卵、ストレス改善飼料「はつらつモウラック」、「E繁殖」を提案	母豚の損耗を捕い、繁殖成績を改善する「プラス1ママミックス3」「ワンアップ」等の提案	暑熱対策飼料「フェスタU」等の提案
	和牛の生産効率改善 飼養管理・生産成績実態調査から、和牛生産性改善モデル体系を提案し、実証	多産系種豚による生産性向上 増加する総産子を生かして離乳頭数を増やす取り組みを提案	破卵率改善 「ロボエッグ」による集卵施設の調査分析・評価
	肉質、歩留改善飼料「やわらか3Q」、ストレス軽減飼料「はつらつモウラック」等を提案	死産対策やば乳事故対策による離乳頭数を増やす取り組みを実施	卵殻強化資材「エスク2」の提案

農場調査・衛生検査を実施し、疾病事故の原因調査、衛生対策および栄養改善など調査結果に基づいたフィードバックを提案します。

●実証モデルの具体例

代謝プロファイルテストを活用した

繁殖母牛の栄養管理

母牛の栄養不良は不受胎の原因となるだけでなく、子牛の発育成績にも悪影響を及ぼします。「代謝プロファイルテスト」とは、牛群の栄養状態を評価する手法の一つです。検査結果に基づき栄養のアンバランスを整えることで、牛群全体の生産成績改善を目指します。

【図1】代謝プロファイルテストの概念



② 暑熱・環境対策

全力サポートチームによる農場の環境調査を行い、暑熱環境下での生産課題の発見・改善方法(対策資材・サービス)